

2018年5月28日

福島県教育長  
鈴木 淳一様

日本共産党福島県議会議員団  
団長 神山 悦子  
阿部裕美子  
宮川えみ子  
宮本しづえ  
吉田 英策

自衛隊の教育介入「南極の氷体験校募集」に抗議し、  
市町村教育委員会あて文書の撤回を求める申し入れ

自衛隊福島地方協力本部が、自衛隊に対する理解と認識を深める目的で、5月17日福島県庁義務教育課長宛に、総合学習時間の支援として「南極の氷体験小中校募集」のチラシの県内各小中学校への配布依頼をしていたことが明らかになりました。応募した小中学校に海上自衛隊砕氷艦「しらせ」が持ち帰った南極氷を元「しらせ」乗組員が解説するという授業内容です。県教育委員会は、5月23日市町村教育委員会に周知する旨の依頼文書を送付しました。

子ども受けする教材を使って義務教育課程に自衛隊が関わってくることは、自衛隊の教育介入であり重大問題です。安保法制によって、日本の自衛隊は集団的自衛権も行使する実力部隊に変質させられており、加えてイラク派兵時の日報の隠ぺい問題など、シビリアンコントロールが問題視されているだけに慎重な対応が求められています。

平和憲法に基づく戦後教育の出発点は、軍部による支配の排除にあり、自衛隊と学校が連携強化することは戦前と同じ発想と言わなければなりません。

よって、軍部の教育介入につながる今回の総合学習の案内文書配布依頼に厳しく抗議するとともに、県教育委員会は市町村あて文書を撤回するよう申し入れます。

1、自衛隊の不当な教育介入に抗議し、南極氷を使った総合学習校募集の市町村教育委員会あて文書は直ちに撤回すること。

以上